時は２０１２年１２月３０日。
帝都東京は分厚い雨雲に覆われた。
コミケ勢は傘もさせずに雨ざらしで待機。
その頃、非コミケ勢はぬくぬくと年末のひと時を過ごしていた。
そして、コミケ勢の阿鼻叫喚の図を想像しつつ集結し始める買い出し組。
役者が揃い始めていた。

徐々に年末恒例となってきた「からくり屋敷忘年会オフ」。
今回も前年に引き続き１２月３０日の開催となった。
簡単にその様子をご報告しよう。

呼びかけ人は蟹セカン、通称「セカン」だ。
誰から呼応したかは定かではないが徐々に参加者も増え、
気づいた頃には「taka 宅で鍋」ということになっていた。
セカンは金が無い（あればコミケ用の予算に回る）から、
この話にあっさりと乗ってきた。
こうして数年ぶりに「達人宅でのからくり忘年会」開催となった。

ちなみに、ここ数年の記録を掘り返してみると
２０１２年－１２月３０日開催　等々力
２０１１年－１２月３０日開催　飯田橋
２０１０年－１２月３０日開催　中　野
２００９年－１２月２７日開催　新　宿
２００８年－１２月３０日開催　等々力
今回を含めて、だいたい１２月３０日に開催されている。
仕事などもバラバラなので、けっきょくこうなるらしい。
コミケで上京する者がいるので、ちょうどよいという都合もあるようだ。
興味のある人はこの時期に近くなったら注視しておくと良いだろう。

今回のオフは二部構成となっている。
第０部：等々力にて食材の買い出し
第１部：自由が丘に集結しカラオケ
第２部：等々力に移動し達人宅で鍋

これに先駆けて taka 宅（アパート）では「数年ぶりの大掃除」。
といっても、現在のアパートに移って１年目なのだけども。
夜中３時まで「部屋の床面積最大化」に取り組むも挫折。
朝８時には作業を再開し、１２時３０分からの買い出し前に
「ルンバを動かせる状況」を作り上げることに成功した。
（ここ１週間ほどはルンバが仕事のできない状況だったらしい。）

一体、今回の忘年会オフはどうなってしまうのであろうか？

第０部

買い出しは１２時３０分に等々力集合。
メンツは taka、とーます、エリプス、たつまる、の４名。
本当はコトハも買い出しメンバーだったのだが、
１１時３０分頃　チャットにて　コトハ「今から向かう！」と。
個人的な予想では、集合の１時間くらい前から徘徊してるくらいと
思っていたのだが、まさかのこれからスタートだったとは。

とーます、エリプス両氏にやや遅れて taka も等々力駅へ。
そしてマックで軽く食事を始める。
やや遅れて「メール連絡の付かなくなっていた」たつまる到着。
申し合わせもしていないのに駅前マックでちゃんと合流できた。
ここらの呼吸の合い方はさすがといったところか。

駅から歩いて２分のスーパーバリューで
肉を５kg くらい買って、他をテキトウに購入。
結構買ったつもりでも１万円と少しで済んだ。
（紙皿や紙コップは事前に集めておいた。）

これらを達人宅に持ち帰るのだが・・
当然予想された事態として「冷蔵庫に入りきら無い」。
まぁ、仕方がないよね・・　肉最優先で後はテキトウに放置した。

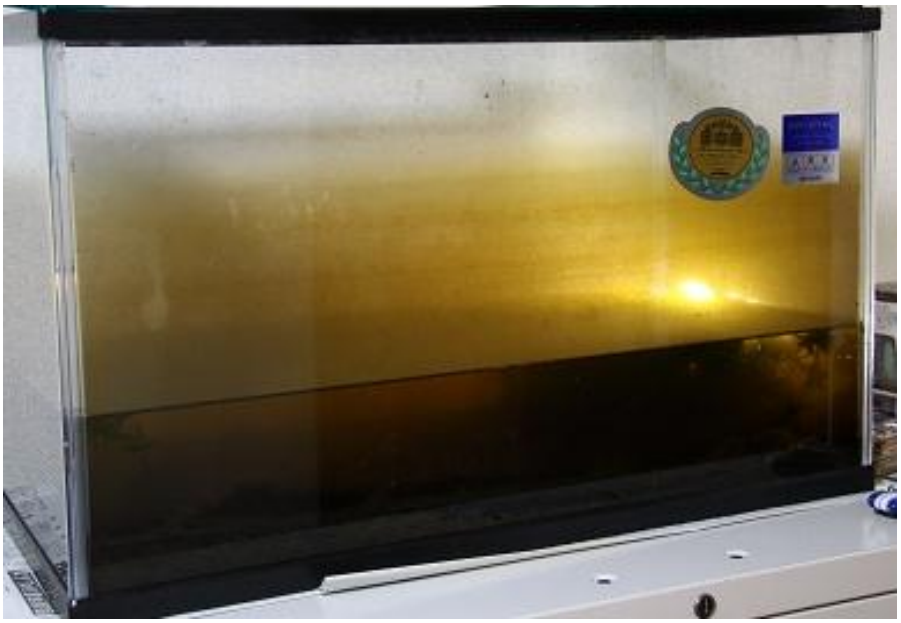
ところで、達人はここ２年ほどアクアリウムに手を出している。
最近は９０ｃｍ水槽のセットにまで手を出している。
とーます「これが噂のアクアリウムか」

まだ水草も少ないが気にしたら負けでござる。

内容はこんな感じの混泳水槽だったりする。

ネオンテトラ	×１５以上
カージナルテトラ	×１５
アカヒレ	×　８くらい
オトシンクルス	×　４
コリドラス（シロ）	×　１
ベタ（貰い物）	×　１
ハイフィンコリドラス	×　３
ドジョウ・ヒドジョウ	×　５
ミッキーマウスプラティ	×　５
レッドテールブラックシャーク	×　４
ミナミヌマエビ	×１０程度

ほぼ水換えをしないで押し通してきた６０ｃｍ水槽は
９０ｃｍ水槽立ち上げ時に救出失敗したドジョウ×１と
ミナミヌマエビが多数いるのだが・・
観賞用とはいえない状態。
ガラス面を歯ブラシで擦っても全然色が落ちない・・（汗）



今回はほぼ水を入れ替えたせいで、ちゃんとキレイなはずなのだが・・
じゃんぶらー「見てはいけないものを見てしまった気がする」（焼肉時のセリフ）

メダカや石巻貝が生きていけない環境ではあったが、ネオンテトラ、アカヒレ、オトシンクルス、ドジョウ、ミナミヌマエビなどは何の問題もなく生き延びていた模様。ミナミヌマエビに至っては大繁殖していた。

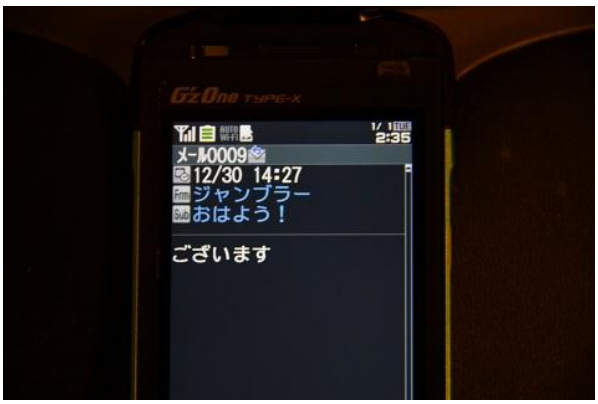
第１部

自由が丘の正面口に**１４時３０分集合**、となっていた。
我々は悠々と１４時２８分頃、自由が丘に到着。
先に到着しているはずの部隊と合流することにした。

正面口改札前・・　誰もいない。
情報を確認してみると「交番前に集結」しているらしい。
DMC オフ以来の、まさかの交番前集合とは
「こいつら正気か？」
と思ったのは言うまでもなかろう。

そして案の定、初参加の**ふにげあ**さんが合流できていない。
が、さほど時間がかからずに合流できたのでよしとする。
そんなところにメールが届いた。

From:じゃんぶらー
Sub：おはよう！
内容：ございます



一同「予定通りだな」
じゃんぶらーが集合時間に出発・起床は屋敷オフの大事なテンプレなのである。
誰一人慌てたりしない。これは試験に出るくらい重要だ。

そして、**きーとん先生（１７歳）**は
「交通渋滞で到着の目処すら立たず！」

というような報告・・　この時期に車は　アカン。
しかも今年は笹子トンネルの事故の影響もある。
きーとん先生のカラオケは諦めざるを得なかった。

最後に、初参加のふにげあ氏との合流である。
ひょろっとした氏と我々は正面口改札で合流。
taka「はい　みんな簡単に自己紹介な！」とパスを投げる。
「セカンです」「コトハです」
taka「おいおい　ちょっと・・　はい　自己紹介！」（２度目のパス）
「葵です」「猪瀬直樹です（ｂｙ黒岩省吾都知事）」
taka「くっ（そう来たか）　まぁよし　カラオケ行くか」

ということで・・
事前に価格調査をしておいたビッグエコーに突入。
３０分１０５円という実に良心的なお値段。
まぁ、昼間だからってのが最大の原因なわけだが。

ここでメンツをおさらいしておくと次の１０人だ。
東　京：エリプス、たつまる、とーます、taka
埼玉組：ふにげあ、葵、コトハ
他地方：セカン、カジワラ（REO）、黒岩
（きーとん、じゃんぶらーは遅刻。
　くらすて、北斗はとりあえず欠席の方向。）

合計１０人もいる、という事以上に
「カード組は放っておけば歌わずにカードバトルを始める」
ということから**二部屋にしてもらった。**
運良く空いていたから大丈夫だったらしい。
時間は３時間ということにした。
ドリンクは５００円でドリンクバー。

カラオケ部屋：とーます、ふにげあ、カジワラ（REO）、taka
カード部屋：セカン、黒岩、葵、コトハ、たつまる、エリプス

ここはカラオケボックスだというのにこいつらときたら・・
（カラオケ部屋：４人　カード部屋：６人）

気を取り直してカラオケ部屋へ。
デンモクをいじりだす　反応しない・・　交換。
マイク　電源入らない　しばらく放置　　交換。
デンモク・・やっぱり変なところが反応する・・我慢。
もう１つのデンモクは反応がすばらしいので良しとした。

最初の選曲
カジワラ（REO）：アニメ JOJO の OP テーマ（第一部）
とーます：なんかスタイリッシュな普通（？）の曲
taka：疾風ザブングル　（恒例のご挨拶）
ふにげあ：**桃色吐息**　・・！？

（　´д)ヒソ(´д`)ヒソ(д`　）
「ど、どういうことだ？」
「渋い選曲だな」
「そもそもおれらの知っているふにさんなのか？本当に」（倒置法）
「間違って他の人を連れてきちまったのか？」（疑惑）
「責任者誰だ」（責任転嫁）

屋敷オフにおけるカラオケは自己紹介を兼ねる部分がある。
カジワラ（REO）、とーます、taka はそれぞれの特性に合わせて選曲。
カジワラ（REO）は JOJO 基地外として有名なので、避けられないご指名。
とーますはオフでは「最後の良心」なので普通の曲も許される。（おっぱい）
taka は「からくり屋敷の串田アキラ」とも言われる。
疾風ザブングルは勝手に入れられることも少なくない。

<u>このように初参加の人に優しい風習があるのだ。</u>

一方の初参加であるふにげあは
過去の名作などからのチョイスでしばらく牽制。
こやつ　　できる・・！
最初から馬脚をあらわすような愚は犯さない。
なんて慎重な男なんだ・・

それはともかく、しばらく４人で歌い続ける。
１時間もすると、じゃんぷらーが自由が丘に到着。

taka が駅まで迎えに行った。

じゃんぶらーを連れてカラオケボックスに戻る。
部屋に戻る前に飲み物を調達。
ここは迷わず「コーンポタージュ」を選択。
taka「やっぱこれだよな」
じゃんぶらー「あぁ　コンポタしかないよな」
冷たい雨に打たれて、体を温めるにはこれしかなかった模様。

じゃんぶらーの話によると、こういうところで
コーンポタージュやオニオンスープを選ぶと
「独身の方ですね？」と言われてしまうことがあるそうだ。
なぜそんなサイキッカーがそのへんにゴロゴロしているのかというと、
「既婚者の方々はカロリーを気にされるので」だと。
なんと・・　そんなに気にしなければならないほど
オニオンスープなんかもカロリー高かったのか、と。
そんなどうでもいい話をしていた３３歳の男二人であった。

そしてカラオケ部屋に戻った。

taka「はぃ　自己紹介」
じゃんぶらー**「はじめまして　ボク　キサラです」**

さすがじゃんぶらー。打ち合わせなしでしっかり決めてきた。
屋敷オフでは**自己紹介の際に他人の名を名乗る伝統的風習がある。**
その際に用いられるのは「からくりの横柄」ことキサラの名だ。
今ではアイドルヲタに身をやつしているが、
氏が屋敷の重鎮であり続けていることが伺える一コマでもあったと言えよう。

じゃんぶらー「実は屋敷に関係ない人が混じっていると聞いたんですが」
と、ふにさんの偽物疑惑に言及。（選曲に関する情報は taka 提供）
遺憾なくその無遠慮さをアピール。
そして最初から「いかにもじゃんぶらーらしい選曲」を開始。
「MORAL」（氷室京介）
「OH! G メン」（ミドリカワ書房）
いつもなら「青のり」（ブリーフアンドトランクス）なども入れる。

気づくとカード部屋からエリプスやたつまるも合流。
とーますが入れ替わりでカード部屋へ行ったりしたが、
だんだんカラオケボックスらしい風景になっていく。
アイドルマスターの曲が入ってきたり、と
プロデューサーたちも気合が入ってきたようだった。
エリプスは迷わずイクシオンサーガの ED と OP を選曲していた。

そうして、ふにげあ別人疑惑を除けば
比較的問題なくカラオケタイムは進む。
２時間３０分に達した頃、きーとん先生が自由が丘に
到着したという連絡が入り、それじゃあ、ってことで
カラオケを終了し合流した。

ズザーーーーーーー

（゜д゜）　・・　なに、この雨
もともと雨が降っていたのだが、バケツをひっくり
返したようなというレベルの雨脚に変貌していた。

じゃんぷらー「はぃ　タクシーで行く人ー」
な、なんてやつだ　だめ社会人の見本だ。
４人ほどは達人宅へタクシーで向かうことにした。

達人らのメンバーは電車で自由が丘から等々力、さらに達人宅へ。

駅前ではこんなことが話題になっていた。
１２０円でいいところを１５０円の切符を買ってしまうセカン、
ラブライブ命で東京に来てるというのにチケットを忘れたきーとん先生、
大事な戦利品がこの滝のような雨によって濡れてしまったふにげあ、
そして全然来ないタクシー（タクシープールに全くいない）、
などなど・・　まぁ、オフって色々あるよね、というお話。

ちなみに、セカンは taka に払戻＋買い直しを強要された。
きーとんは実家に電話し宅急便で届けてもらう算段をつけた。
ふにげあについては・・　（一人一）合掌
タクシー勢も気づいたら消えていたので、ちゃんと車が来たらしい。

等々力駅から達人宅へ向かう途中、
道が川のようになっていたり、少し早く到着したタクシー組が
さっさと達人宅への侵入に成功していたり、となんか色々あったが、
とりあえずみんな達人宅へ到着した。

しかし、ここからが本番だったのである。

第２部

ようやく達人宅へ到着したのだが、
まず「靴が入りきらない」から始まり、
「荷物の置き場がない」
「濡れた上着をかけるところがない」
「どうやって食べる準備に取り掛かればいいのかはっきりしない」
「包丁やまな板が普通に足りない」
などなど、細々とした面倒な問題のオンパレード。

とりあえず古新聞を敷いて、靴置き場やら荷物置き場を確保。
他はなんとか片づけたりして確保できたが。

次は鍋＋焼肉の用意。
誰が切るよ・・　という話になる。
なぜかセカンがやることになり、セカンは座ってテーブルで作業開始。
暇なみんなでそれを立って囲んで眺めるの図。

セカン「そんなジロジロみないでくれ　き、きんちょうする！」
一同「・・・（他にやることないし）」
セカン「くっ　なんてやつらだ」「み、みないでくれー」

包丁がもう１つ確保できたところで、とーますも野菜を切り始める。
それを盛り分けたりするじゃんぶらーなど。
じゃんぶらー「こ、これは・・　さすがに食えん！」
濡れた新聞紙が少々混入していた。
もうまな板の確保までは難しいから、と新聞紙の上で切ってもらっていたのだ。
きっと、下手に他のまな板を確保してノロの危険性が増すよりはマシだったに違いない。

しばらくすると、カード勢がバトルを開始する。
なんか無数のパックが中身を検められたりもしていた。
どうせやれることがないので、下手にうろちょろされるよりは都合がよい。
しかし、どんだけバトルのことしか頭にないんだ・・

鍋ができてもなかなかバトルをやめないカード勢には感心した。
彼らは食欲を克服して、バトルに熱中できる境涯に達していたらしい。

じゃんぶらーが肉に下味を付けたいとかで、
「達人　こいつに塩コショウをふってくれ」
とかいうので、しゃあないからやってやると・・
「・・　達人が病気になる理由がよくわかった」
（痩せない理由、と言っていた説もあり）
とか言い出す。こいつ・・意味不明なことを！
（ちなみに、ちょっと塩コショウがかかりすぎたのは事実だ。
　が、じゃんぶらーが自分でやったのもミスって同じかそれ以上かかっていた。）

そして、ようやく準備に専念していた者たちも食べられる状況になり、
焼肉を開始した。（焼肉は DK 側でやることにしたのだった）
ジュージュージュー
ぞろぞろぞろ
（ ゜д゜） コ、コイツら・・

焼肉は偉大だった。
鍋では動かなかったカード勢どもが次々と肉を奪いに来た。

鍋　＜　バトルにかける熱い思い　＜　**焼肉の誘惑**

ということが判明した一コマだった。

そこからは延々と焼肉＋鍋のバトル。
肉類は５ｋｇくらい買ってあるので不安なし。
焼肉側では茹でたかぼちゃを焼いたのが大好評。
（硬すぎて切れないので茹でてみた）
終わりの方でやった、キャベツを蒸したのもかなり好評。

鍋がめんどくさくなってきたので、１ｋｇのソーセージを
何回かに分けて投入。重たいソーセージの脂で食欲にブレーキ。
たつまる考案の技だったような気がしないでもない。
たつまる「これを入れておけば皆黙るから」
確かに大半は黙々と食べるか、カードに戻るかすることになった。

じゃんぶらーがラム酒を持ち込んでいた。
からくり屋敷では、じゃんぶらー・とーますが
ラム酒部的な活動をこっそりと行なっていたりする。
達人は全く酒が飲めないのでよくわからないが、奥が深いらしい。

今回はふにげあがラム酒に挑戦。
ここまで借りてきた猫のように控えめだったふにげあだが、何を血迷ったか
飲んだことのない度の高く回りやすいラム酒をぐいぐい飲んでしまう。
数分後・・

ふにげあ「くけけけけ　クェーけけけ」
とーます「ふにげあさん　大丈夫？」
ふにげあ「ふぇーふえふえ　ボクはだいじょーぶですよ　ダイジョーブ　ういっひぃ」
taka「おーぃ　正気か？　ほんとにまずいんじゃないのか？」
ふにげあ「ボクはショウキですよ　ショウキ　うひゃひゃ」
じゃんぶらー「ほら　**おれらの知っているふにげあさんじゃないか！**　何失礼なこといってるの」
一同「な、なんだってー！？」
taka「いや、確かに今のほうがいつものふにさんに近い」
とーます「言われてみれば」
ふにげあ「ボクの扱いは　どーなってｒ　　くぇ～けけけｋ」
一同「だめだこいつ　早く何とかしないと（汗」

水を嫌というほど飲ませる。（２～３杯ずつ）
寝かせる。（２分くらいで起きてきちゃう）
トイレに行かせる。
しばらく座らせる。また水を飲ませる。
寝かせる。（今度は少し長め）
トイレに行かせる。
塩をなめさせる。水をさらに飲ませる。
トイレに行かせる。

というようなことを何度か繰り返したら、なんとか落ち着いた。
岩塩を床にぶちまけられたりとか、
ふらふらしながら歩いていて色々危なかったとか、
あれこれありましたが・・　なんとか寝かしつけました。

ところで、最初のうちは「ルンバ＋神姫で遊ぼう！」とか
言ってたセカンだが、気づくと他のことしかやっていない。
焼肉会場的にも居場所のないルンバ君・・
こんなところに追いやられて狭い範囲を掃除させられていました。

みんなが焼肉、鍋、カードバトルに夢中になっている影で、
こんな陰湿なルンバいじめがなされていた模様。

一方のセカンは「達人宅の仏壇」代わりの棚で
こんな記念撮影をしていました。なんてやつだっ！

その頃、体調不良で欠席の方向だった**「くらすて」**が合流することに。
しかし、連絡があってからもなかなか到着せず、皆が気をもんでいたところ・・
予想よりも３０分くらい遅れてくらすてが到着。

くらすて「遅れてすまない　**エロ本が手に入らなかったんだ**　店がなくなっていたンだ！」

（ ﾟдﾟ）　えろすてさん　いったいオフへ何しに・・

くらすて「いつも買っていた店がなくなっていたんだよ！」

（ ﾟдﾟ）　いや、だからなぜエロ本・・

くらすて「ヽ(｀Д´#)ﾉ ｳﾝｺｰ」

説明しよう。
一年前の忘年会オフで、すでに「えろすて」の名を欲しいままにしていた
くらすては、手土産に「１０年くらい前のエロまんが」を持参してきた。
それをセカンに託したという前歴があったのだ。
今回もそれを期待する一部の声なき声と、そのサイレントマジョリティからの
見えざる圧力に突き動かされたくらすては、「手土産にはエロ本」という
ミッションを自らに課していたのだった。
そして、久々に戻った地元から横浜に出て、行きつけだった店に行ったのだが、
まさかの店自体の消滅という事態にどうすることもできず、手ぶらで到着したのだ。
--解説終わり。--

この後、これでもかというほど**「エロ本さんがくらすてを忘れた」**とか、
「エロ本＋くらすて」ネタにされ続けた。
彼はなんという星の下に生まれてしまったのか。

ふにげあ「taka さん　このパンもらってもいいですか？」
酔い覚ましの一環で、何かを口に入れたかった模様。
特に断る理由もないので「いいよー」と承諾した。

数分後・・
ふにげあ「taka さん　この食パン**すごく変わってますね**」
taka「ぇ？（ちょっと古かったのがバレたか？）」

ふにげあ**「耳が赤いパンなんて初めて食べましたよ」**

taka「え”？？（汗」

いや、そんな馬鹿な。
そんなカラフルなカビが生えるほどじゃないはずだし、
ぱっと見そんなに赤く・・

ピコーン！

（ ﾟдﾟ）　ま　さ　か

耳じゃねーーーーー！ｗ

さすがふにさん
俺たちには出来ないことを平然とやってのける！
そこにしびれる　あこがｒ　・・　ないよ！
まさか紙を食べちゃうだなんて・・　侮っていたわ。

そんなこんなで宴もたけなわでございますが・・
そろそろお時間ですよ　ってことで精算をすることに。
一部の例外を除き、一人２０００円で済みました。
自由が丘でのカラオケ代込みで。

これでも黒字の達人がいましたが（ぉ

金に余裕のないセカン　＋　ケチな達人　＝　２０００円！
やたらとお財布に優しい忘年会だったのでした。

ただ、これだけの無法者を自宅に呼び寄せるという行為・・
そのリスクは円換算することが非常に困難というか、
ハイリスク過ぎることは言うまでもないので、
果たして黒字だったからといって喜んでよかったのかどうか、
については疑問が残ります。
素人にはお勧めできない、というやつ。（古い

こうして、怒涛の２０１２年からくり忘年会オフは終了したのだった。

恒例の記念撮影の様子。（かなりぼかしてあります）
床が抜けないかと心配でしたが、なんとかなりました。

２０１２年、皆さん 本当にお疲れ様でした。

補足：等々力について

等々力駅と駅周辺はその微妙な寂れ具合の割に、
一日平均で２７，０００人以上が乗り降りするという。
（乗る人＋降りる人＝２７，０００人の意味）
これは大井町線の乗り換えなしの駅では１位の数字で
隣駅の尾山台と僅差で抜きつ抜かれつの争いを続けている。
（大井町線全体で見ても、大井町、自由が丘、二子玉川、溝の口に次ぐ数字である。）

そんな駅だというのに、ほんの数年前は
「等々力唯一のスーパーが潰れる」という異常事態を招いていた。
商店街がちゃんと発展した尾山台に比べて、等々力は交通の要所
でもある側面が強く、大きな区の出張所、警察署、消防署などが
あったりする地域で、あまり商店街としてはうまく発展できていない。
というより、等々力駅利用者も商店街としては尾山台を利用する
ことが多いくらいだった。

等々力駅の古くから使われている木造の駅舎を、
趣があると思うか、素直にぼろくて貧乏臭いと気づくか、
そこは各人の判断に委ねたい。ちなみにトイレすらない前近代的な駅である。

そんな等々力も、今ではスーパーが３つある。
１つ目は今回買い物に行った「スーパーバリュー」。
２つ目はイオン系列の「まいばすけっと」。
３つ目は高級スーパーである「成城石井」。
スーパーバリューは妙に安上がりで済むので人気の店である。
けちな達人御用達であることは言うまでもない。
（特に肉類を大量に買いたい時などにいい。）

２３区唯一の渓谷があるところとして有名なので、
そういう目的で遊びに来るのも悪くないところではある。
なお、サッカーで有名な等々力競技場は多摩川を挟んで
もう少し下流の地域である。（昔はよく間違って来る人がいた）